

田上町のトチノキ

高橋 務

トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume) は、低山帯の深山、溪流沿いに、ごく普通に生育している樹種である。

平野部に近い新津丘陵（護摩堂山周辺を含む）には、記録がないが*、新津丘陵の麓を走る国道403に沿う田上町内の集落に近い山地に生育しているのが見つかったので報告する。

田上町山田集落の背後のなだらかな傾斜地には、地元の農家が耕作する畑があり、湯田上ゴルフ場との境の窪地、標高 5~60mの地点に生育している。

胸高幹周り 160cm

周辺には、コシノヒガンザクラ（胸高幹周り 240cm）、クヌギ（胸高幹周り 195・202・210cm）の3本、さらに上部のスギ林のなかにも、数本の大きなクヌギが生育している。

（付）近辺では、加茂市八幡の長瀬神社叢林に。トチノキが1本（胸高幹周り 206cm）生育している。

なお、同社叢林には、ケヤキ（樹高約10m、幹周 6m）、ブナ（樹高約10m、幹周 3m）の巨木がみられ、加茂市の名木に（数値は看板表示）されている。

* 石沢 進（監修）（1998）越後新津丘陵 里山の植物 （財）新潟県都市緑化センター
坪谷富男（1969）護摩堂山の植物（予報・謄写版）



写真1 田上町山田のトチノキ
('09. 5.15)



写真2 加茂市長瀬神社のトチノキ
('10.10. 1)